

I. 次の楽曲はメンデルスゾーン作曲、弦楽四重奏曲 op. 12 第2楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～③の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点)  
(音程)

① 増5度	② 長3度	③ 短7度	④ 完全4度
⑤ 増1度	⑥ 完全8度	⑦ 長13度 (oct長6度)	⑧ 減3度

(転回音程) (3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)  
旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(a) ⑦を導音とする長音階

(b) ⑦を属音とする長調の第Ⅵ音を  
下属音とする旋律短音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いず右の五線に主音から上行形で書きなさい。(3点×2=6点)

(c) ⑦を下属音とする和声短音階

(d) ⑨を下属音とする短調の第Ⅲ音を  
主音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 長三和音 転回形 第2転回形 (2) 種類 属七の和音 転回形 第3転回形  
(3) 種類 減七の和音 転回形 基本形 (4) 種類 短三和音 転回形 第1転回形  
(5) 種類 減三和音 転回形 第1転回形

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[ ]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい  
(短調は和声短音階とする)。(a～c: 2点×4=8点、d: 1点×7=7点)

- a. (1)を主和音とする調の《 平行調 》はト短調である。  
b. (4)を下属和音とする調の属調は[ イ短調 ]である。  
c. (5)をⅦ度の和音とする短調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を平行調とする調の下属調は  
[ 変イ長調 ]である。

- d. 自然短音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。  
I { 短三和音 } II { 減三和音 } III { 長三和音 } IV { 短三和音 }  
V { 短三和音 } VI { 長三和音 } VII { 長三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

meno mosso	13
energico	7
a piacere	9
senza	14
Adagietto	3
amabile	6
comodo	11

- 意味: 1. 活気をもって 8. 気まぐれに  
2. Adagioよりも遅く 9. 自由に  
3. Adagioよりも速く 10. 悲しげに  
4. ～から 11. 気楽に  
5. 正確に 12. 今までより速く  
6. 愛らしく 13. 今までより遅く  
7. 精力的に 14. ～なしで

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C Lento

(は)

(に)

- A 嬰へ短調 B ト長調  
C (い) 変ホ長調 (ろ) 変ロ長調  
(は) ハ短調 (に) 変イ短調